

# 第64回工大祭「葉」



今年も、10月に戸畑・飯塚の両キャンパスで工大祭が開催されます。今回、明専会報の紙面をお借りして、第64回工大祭の戸畑でのイベントとそれを運営する工学部の実行委員会について皆様にご案内させていただきます。

工大祭当日（12日）には、明専会のホームカミングデーも開催されますので、万障お繰り合わせの上、ぜひご来学ください。



← 第63回工大祭の様子  
第64回工大祭特設サイトはこちら →



12  
日  
(土)

- ・実行委員1回生企画①
- ・前夜祭
- ・スペシャルゲストトークショー  
(記念講堂で開催予定)

13  
日  
(日)

- ・実行委員1回生企画②
- ・後夜祭
- ・ロボットコンテスト  
(中村記念館で開催予定)

- ・学科展
- ・サークル展
- ・スタンプラリー
- ・模擬店
- ・野外ステージでのパフォーマンス
- ・よいこのかがくじっけん (子ども向け講座)

両  
日

※6月15日時点での予定であり、変更される場合があります。最新の情報は工大祭特設サイトから。

## そもそも工大祭実行委員会は何をしているのか？

工学部（戸畑）の工大祭実行委員会は、工大祭全体の指針を定める「計画」、それに基づいて企画を考える「立案」、実際に実施するための企画書の作成や、パンフレットや公式サイト製作、広告や協賛の収集などの「準備」、そして当日の「運営」に至るまで、大学やその他の外部のイベント会社や団体が運営の統括に関わらない、他大学の学園祭実行委員会と比べて圧倒的に自主性の高い組織です。

今回、特にご紹介したいのが、「現場」と呼ばれる役職です。イベントで必ず必要な「音響（PA）」、「照明」、「電気系統の配備（配電）」、「映像技術・配信（映像）」の4つがありますが、これらすべてを学生自らオペレーションする大学は、戸畑だけにしかない（\*1）といっても過言ではありません。

第64回工大祭・工大祭実行委員会（工学部）のご紹介



日本  
唯一

【配電】通常、業者に委託する分野（\*2）ですが工大祭では学生が担います。他の現場の機材への電力供給に加え、模擬店にも電気を供給しています。配線のルートを考え、実際に敷設するところまで扱っています。

【音響】イベントにてBGMを流したり、マイクの調節を行ったりなど、イベント開催に必要な不可欠な仕事です。音楽系のオペレーションでは同時に20系統以上のマイクを扱います。

【照明】出演者の登場シーンなどイベントを視覚的に彩る役割です。可能な範囲で最新の技術を使い、演出を行っています。野外ステージでは日光があっても効果のある照明演出を目指しています。

【映像】イベントでの来場者向けの映像・動画の放映を行う仕事です。第64回から新たに現場に加わりました。今後、技術の導入を進め、ハイレベルな演出ができるようにしていきます。



（\*1）音響・照明は九州大学大橋キャンパスで行っているケースなどがありますが、配電については他大学の情報は確認されておらず日本唯一と考えています。（※当委員会調べ）  
（\*2）配電については、第26回工大祭で初めて電気系統の整備を行ったOB（有資格者）の指導・監督に加え、九工大内での電気系統の責任者の資格に基づき実施しております。

KOUDASAI GROW-UP VISION 2024（私たちが目指す工大祭の未来）

### 工大祭を学生・大学と地域、企業をつなぐ コア【核】に成長させる。

創造領域	コンテンツによる 来場者数増加
	情報戦略強化 機材等の増強
基盤領域	

工大祭の企画力を向上させ、来場者数の増加を図る。記念講堂でのゲスト（有名人）による企画やターゲット層である地域住民や子どもたちが楽しめる企画、九工大生にとって魅力的な企画を用意する。

ウェブやSNS、チラシ等のプラットフォームを最大限活用するほか、工大祭が保有する機材を増強し、コンテンツ強化につなげる。

マーケティング戦略の強化や各種関係機関、団体との連携、工大祭実行委員会の業務改善を通じた運営・財政基盤の改善を実施する。

第64回工大祭で目指す両日合計来場者数1万人  
に向けて、鋭意準備を進めてまいります

# ご支援求む。

- 広告協賛
- 機材・物品協賛
- 運営費へのご支援

工大祭の実施にあたり、多くの皆さまからのご支援を求めています。ぜひご支援を賜りますようお願い申し上げます。 実行委員会一同

詳細は  
公式サイトへ

